

スマート農業の総合推進対策

【令和4年度予算概算決定額 1,404（1,359）百万円】
（令和3年度補正予算額 4,850百万円）

<対策のポイント>

スマート農業の社会実装を加速するため、産地ぐるみでの先端技術の導入実証やスマート農業普及のための環境整備等について総合的に取り組みます。

<事業目標>

農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践 [令和7年まで]

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. スマート農業社会実装加速化のための技術開発・実証

スマート農業の社会実装を加速化するため、産地ぐるみでの先端技術の現場実証等を行います。

- ① スマート農業加速化実証プロジェクト
- ② スマート農業産地モデル実証
- ③ ペレット堆肥活用促進のための技術開発・実証

2. スマート農業普及のための環境整備

スマート農業を普及させるための環境整備を行います。

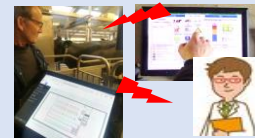
- ① 農林水産データ管理・活用基盤強化
- ② データ駆動型農業の実践・展開支援
- ③ スマートグリーンハウス先駆的開拓推進
- ④ 農林水産業におけるロボット技術安全性確保策検討
- ⑤ データ駆動型土づくり推進
- ⑥ スマート農業教育推進

技術開発・実証

1. スマート農業社会実装加速化のための技術開発・実証

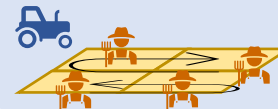
① スマート農業加速化実証プロジェクト

スマート農業技術導入による経営改善効果等を分析・検証



② スマート農業産地モデル実証

経営体の枠を超えた産地内でのシェアリングや作業集約による生産性向上やコスト低減等を実証



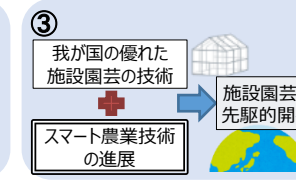
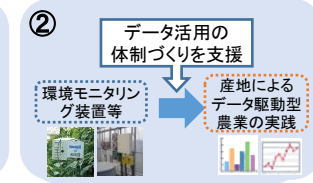
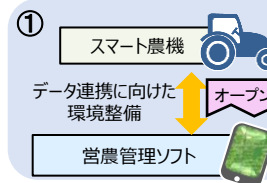
③ ペレット堆肥活用促進のための技術開発・実証

ペレット堆肥の受発注や物流を最適化するシステムの開発、帰り荷となる敷料の探索、現地実証



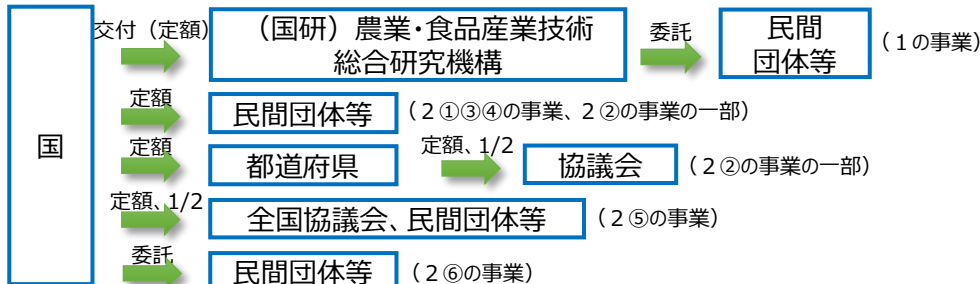
実装・普及に向けた環境整備

2. スマート農業普及のための環境整備



スマート農業の社会実装・実践

<事業の流れ>



【お問い合わせ先】 農林水産技術会議事務局研究推進課 (03-3502-7462)